

「令和4年度 多面的機能支払中国四国シンポジウム in かがわ」の開催

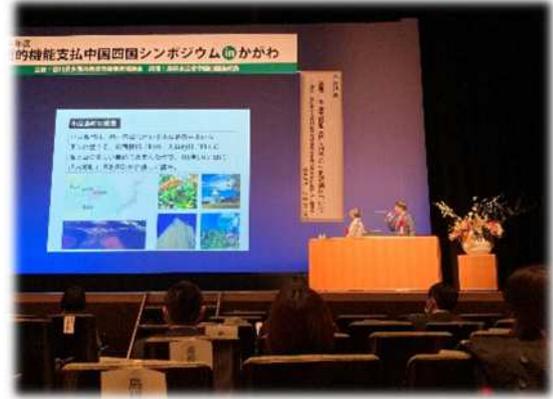
令和5年2月9日（木）香川県高松市レクザムホール（香川県県民ホール）において、「令和4年度 多面的機能支払中国四国シンポジウム in かがわ」が開催されました。このシンポジウムは中国四国管内各県持ち回りで開催されており、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、過去2年間開催中止となっていました。今年香川県多面的機能発揮促進協議会の主催で3年ぶりの開催となりました。山口県からも14活動組織84名が参加し、県外の活動組織と交流を図っていました。



基調講演では気象予報士・防災士の山神明理氏から「気候変動で未来はどうなる～これからの防災で何が重要?～」と題し講演が行われ、また農林水産省農村振興局整備部農地資源課多面的機能支払推進室の竈崎課長補佐から「多面的機能支払交付金の中間評価について」講演がありました。



続いて、令和4年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰が行われ、最優秀賞を受賞された「出上農地・水保全活動組織」（鳥取県琴浦町）と「中山地域活動組織」（香川県小豆島町）から事例の発表があり、参加者は熱心に聴きっていました。



また、会場には今年度各県より推薦のあった中国四国農政局長表彰推薦組織のパネルが展示され、山口県からは「下関市豊田地域広域協定運営委員会」の取り組みが紹介されました。多くの参加者がその活動内容を興味深く読んでいました。



令和4年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰

今年度、中国四国農政局長表彰 優秀賞を受賞された「下関市豊田地域広域協定運営委員会」に対し、中国四国農政局山口県拠点 山根地方参事官より表彰状の授与がありました。表彰式終了後の意見交換会では組織体制や活動内容、広域協定の今後の展望について意見交換が行われるとともに広域協定より制度の簡素化等の要望も行われました。



(山根地方参事官から表彰状を受け取る
吉本会長)



(関係者による集合写真)

(令和5年2月13日(月) 県土連ビル5階会議室にて)